



# 学力向上セミナーレポート



2024.9.10



## 全国学調分析結果を生かして

自校の全国学調解答類型から、小問分析をしました。自校の子供の実態を把握して、具体的な授業でどのような学習指導をすればよいのか、付箋に書き出し、教科書に貼っていきました。参加した先生は、自校の先生方に分析結果を伝えて、授業改善を促進していきます。

ある先生は感想で「今までは分析の仕方がわからなかったので、正答率といった全体像しか見れていませんでしたが、少なくとも自校の傾向を分析することはできるようになったので、分析して授業に落とし込めるようにしていきたいです。」と述べていました。授業改善につなごうとする先生方の姿がありました。

## 全国学調分析の具体

1 項目：学校の児童生徒数の割合 (%)  
2 項目：都道府県（公立）の児童生徒数の割合 (%)  
3 項目：全国（公立）の児童生徒数の割合 (%)

問題番号	問題の概要	解答類型									無解答	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9-9		
3二	物語の下書きについて、文中の語句の位置を渡した巻頭を説明したのとして適切なものを選択する	12.9	59.2	15.9	20.2						6.6	1.1
		11.3	53.8	14.4	19.5						6.0	1.0
1	1 と解答しているもの											
2	2 と解答しているもの											
3	3 と解答しているもの											
4	4 と解答しているもの											
9-9	上記以外の解答											
0	無解答											

例えば、中学校国語「3二」の問題では、ある学校では、全国より正答の割合が低い分、解答類型「1」「3」の解答をした子供の割合が多い傾向にありました。そこで、その理由を報告書を読んだり、授業内容を振り返ったりして探っていました。

### 感想より

ある先生は感想で、「今までは、正答率が低い問題を指導の際に意識することはあったが、不正解の傾向までは分析することがなかったので、新しい見方で目から鱗でした。授業づくりで発問を考えるヒントにもなると思いました。」と述べていました。釧路市全体で子供のよりよい成長につなげられるよう協力していきましょう！

## コレ勉強になります



具体的な授業改善の例として、国立教育政策研究所が授業アイデア例をHPに掲載しています。授業アイデア例に載っているような授業のあり方を追究することの日常化は、授業力向上につながります。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

